

## 緊急時対応経過記録表

●記載日 年 月 日

●施設名 ( )

●記録者 ( )

●名前 ( ☐男 ☐女 ) ●生年月日: 年 月 日●原因物質 ( ) ※アナフィラキシー既往: ☐有 ☐無

●処方薬 ( )

◆症状は急激に変化することがあるため、5分ごとに注意深く症状を観察する

◆ **赤色** の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン®を使用する (内服薬を飲んだ後にエピペン®を使用しても問題ない)

観察時間	⇒ 赤色の部分から順にチェックする ⇒			脈拍 (測れる場合)	呼吸数 (測れる場合)	自由記載欄
	赤色	黄色	青色			
(時 分)	ぐったり 意識もうろう 尿や便を漏らす 脈が触れにくいまたは不規則 唇や爪が青白い 声がかすれる 犬が吠えるような咳 息がしにくい 持続する強い咳き込み ゼーゼーする呼吸 お腹の痛み 持続する強い (がまんできない) ゼーゼーする呼吸 繰り返して吐き続ける	全身が真っ赤 全身に広がるじんま疹 強いかゆみ まぶたの腫れ 顔全体の腫れ 1〜2回の下痢 1〜2回のおう吐 中等度のお腹の痛み 数回の軽い咳	部分的な赤み 数個のじんま疹 軽度のかゆみ くしゃみ、鼻水、鼻つまり 口の中の違和感、唇の腫れ 目のかゆみ、充血 吐き気 軽なお腹の痛み (がまんできる)			●誤食・接触時間: 時 分 ●食べたもの (触れた) ( ) ●食べた量 (触れた) ( ) ●対応 ( ) ●薬の内服・吸入 (内容 ) ●エピペン®の使用 時 分
(時 分)						
(時 分)						
(時 分)						
(時 分)						
(時 分)						
(時 分)						
(時 分)						
(時 分)						
(時 分)						
(時 分)						
(時 分)						

上記の症状が一つでもあてはまる場合

一つでもあてはまる場合

一つでもあてはまる場合

①ただちにエピペン®を使用する

②救急車を要請する (119番通報)

③その場で安静を保つ

(立たせたり、歩かせたりしない)

④その場で救急隊を待つ

⑤可能なら内服薬を飲ませる

「食物アレルギー緊急時対応マニュアル 緊急性の判断と対応」B-2参照

ただちに救急車で医療機関へ搬送

①内服薬を飲ませ、エピペン®

を準備する

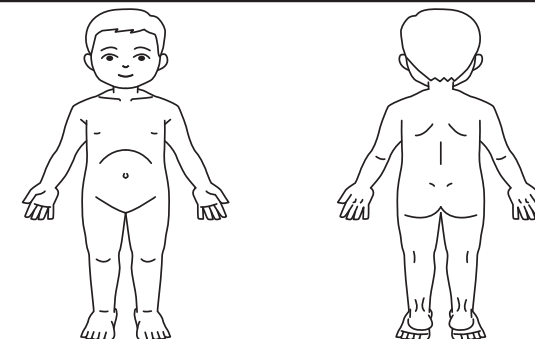
②速やかに医療機関を受診する (救急車の要請も考慮)

③医療機関に到着するまで、5分ごとに症状の変化を観察し、**赤色**の症状が1つでもあてはまる場合は、エピペン®を使用する

速やかに医療機関を受診

①内服薬を飲ませる

②少なくとも1時間は5分ごとに症状の変化を観察し、症状の改善がみられない場合は医療機関を受診する

安静にし  
注意深く経過観察

(症状があれば記載する)

